

「伝統的酒造り」のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組 ①

○ 政府方針等

- 岸田総理大臣施政方針演説（令和4年1月通常国会）
日本酒、焼酎、泡盛など文化資源のユネスコへの登録を目指すなど、日本の魅力を世界に発信
- 菅総理大臣施政方針演説（令和3年1月通常国会）
日本酒、焼酎などの文化資源について、ユネスコ無形文化遺産への登録を目指す

○ 登録無形文化財登録

「伝統的酒造り」を登録無形文化財に登録（令和3年12月2日）
（「書道」と並び、登録無形文化財として初めての登録）

1 登録要件

- ・ 米などの原料を蒸すこと
- ・ 手作業で伝統的なこうじ菌を用いてバラこうじを製造すること
- ・ 並行複発酵を行っており、水以外の物品を添加しないこと 等

2 保持団体

日本の伝統的なこうじ菌を使った酒造り技術の保存会(令和3年4月16日設立)
会長：小西 新右衛門（こにし しんうえもん）

（蒸きょう）



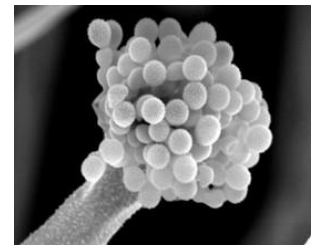
（こうじ造り）



（もろみ管理）



（こうじ菌（国菌））



○ ユネスコ無形文化遺産への提案

- 令和5年3月 ユネスコ事務局に提案書を再提出（令和4年3月 当初提出）
- 令和6年6・9月 ユネスコ評価機関会合
- 令和6年11月 ユネスコ評価機関による評価結果公表
- 令和6年12月2～7日 政府間委員会において審議・決定見込み（パラグアイ）

「伝統的酒造り」のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組 ②

➤ ユネスコ無形文化遺産登録に向け、文化庁・保存会等と連携し、各種機運醸成事業を実施

○ 「伝統的酒造り」シンポジウム(国内)

➤ 酒造りの担い手や有識者を交え全国で順次開催

| 開催年月日 | 会場 | 内容 |
|--------------|---------------|------------|
| 令和4年2月26日 | 国立科学博物館(東京) | こうじ菌文化に焦点 |
| 3月26日 | 京都国立博物館 | 日本酒に焦点 |
| 5月28日 | 沖縄県立博物館・美術館 | 泡盛に焦点 |
| 6月11日 | 福岡国際会議場 | 本格焼酎に焦点 |
| 11月5日 | 名古屋クレストンホテル | みりんに焦点 |
| 令和5年3月5日 | 江陽グランドホテル(仙台) | 東北の酒造りに焦点 |
| 3月23日 24日 | 札幌駅前地下歩行空間 | 北海道の酒造りに焦点 |
| 10月8日 | しいのき迎賓館(金沢) | 石川の酒造りに焦点 |
| 令和6年2月24日 | 池田総合体育館(徳島) | 四国の酒造りに焦点 |
| 3月30日 | 熊本駅白川口駅前広場 | 熊本の酒造りに焦点 |



(パネルディスカッションの様様)



(酒造り唄の披露)

○ ALT(小中学校等の外国語指導助手)等を通じた広報

- 日本に滞在中のALT等の在留外国人向け酒蔵見学ツアーを開催
- 令和5年11月～令和6年3月に、北海道から沖縄までの36道府県で、520名が参加
- 体験談は本人SNSを通じ母国へ情報発信のほか、自治体国際化協会の機関誌に体験記を掲載



○ 「伝統的酒造り」シンポジウム(海外)

- 令和5年2月2日 パリ日本文化会館
ユネスコ各国大使や仏の酒類関係者等を招待し開催。現地の清酒製造者や仏人講師等を交え、ワインと比較しながら、日本の酒造りを訴求



- 令和5年9月25日 ジャパンハウス・ロンドン
伝統産業(日本酒・ワイン)に携わる日英の女性醸造家による対談(トークセッション)を実施



- 令和6年3月7日～11日 ローマ文化会館 等
メディアや料飲業者等を対象とし、伊人酒サムライや日本の酒蔵によるセミナー及びパネルディスカッション等を実施



- 令和5年5月23日 在フランクフルト日本国総領事 公邸
行政、メディア関係者等を対象としたセミナー及びレセプションを開催。日本料理や西欧フュージョン料理とのペアリング体験を実施



- 令和5年11月15日～20日 在スペイン日本国大使 公邸 等
行政やメディア関係者を対象とし、日本食普及親善大使や利き酒師によるセミナー等を実施



- 令和6年9月10日 在デンマーク日本国大使 公邸
料飲業者等を対象としたセミナー及びパネルディスカッションを開催。終了後のレセプションでは、デンマーク料理とのペアリングを実施。

